

福岡県

今年度の取組(前回会合以降12月末までの動き)

活動1: 専門家派遣(1回目) 日程: 2014年9月1日～9月4日

内容: 大気汚染防止対策に知見を持つ専門家及び福岡県環境部・保健環境研究所の職員を派遣して、江蘇省環境保護庁と本事業の内容を協議すると共に、関係機関の視察を行った。

活動2: 訪日研修(1回目、技術職員向け) 日程: 2014年11月11日～11月21日

内容: 江蘇省及び市政府(南通市、鎮江市、無錫市、泰州市)の環境監測センターの職員を対象として、大気汚染防止対策に関する技術的な内容の研修(11日間)を福岡県において実施した。

今年度(2015年1～3月)の予定

活動3: 訪日研修(2回目、行政職員向け) 日程: 2014年1月26日～1月30日

内容: 江蘇省の大気環境保全に携わる行政職員(省・市政府環境保護部門)を対象として、法制度を中心とした研修(5日間)を福岡県において実施する。

活動4: 専門家派遣(2回目) 日程: 2015年3月上旬

内容: 訪日研修を通じて把握した江蘇省の課題を踏まえ、専門家及び福岡県環境部・保健環境研究所の職員を派遣し、江蘇省環境保護庁の関係者と来年度の活動内容について協議する。

来年度以降の予定

- 引き続き訪日研修を実施(年2回程度)
- 発生要因の解析等の分野で共同研究を実施予定
- モデル事業の実施に向けた基礎調査及び日中双方の体制構築を実施予定

今年度の取組(前回会合以降12月末までの動き)

活動1の紹介: 専門家派遣(1回目)【IGES同行】

日程: 2014年9月1日～4日(3泊4日)

主な活動内容:

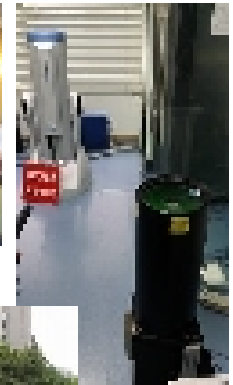
1. 江蘇省環境保護庁との協議
2. 江蘇省環境監測センターへの訪問(業務説明及び設備見学)
3. 南京市内自動車製造工場への視察(塗装工程におけるVOC対策)
4. 南京市自動車排気汚染監督管理センターへの視察

主な成果:

1. 今年度中の主な活動の内容・日程について双方で合意した。
2. 江蘇省・市政府関係機関及び省内事業場の取組について把握した。



江蘇省環境保護庁との協議



江蘇省環境監測センターへの訪問



自動車排気汚染監督管理現場への視察

活動2の紹介: 訪日研修(1回目、技術職員向け) 【IGESと共同実施】

日程: 2014年11月11日～21日(11日間、5名)

主な活動内容:

1. 大気環境のモニタリングやPM2.5をはじめとする大気汚染物質の発生要因の解析などの技術的な内容に関する講義
2. 大気汚染防止のための法制度及びその運用に関する講義
3. 県内事業場における大気汚染防止の取組の見学

主な成果:

1. 江蘇省・市政府の技術面における課題について理解が深まり、今後の協力展開に関する手掛かりが得られた。



福岡県幹部表敬



PM2.5の成分分析(実習)



有害大気汚染物質モニタリング方法の紹介



工場見学(石炭火力発電所)

今年度(2015年1～3月)の予定

活動3の紹介:訪日研修(2回目、行政職員向け)【IGESと共同実施】

日程:2015年1月26日～1月30日(5日間、6名)

主な活動内容(予定):

1. 大気汚染防止のための法制度及びその運用に関する講義
(大気汚染防止法、P R T R制度、公害防止管理者制度など)
2. 県内事業場における大気汚染防止の取組の見学

期待する成果:

1. 江蘇省・市政府の行政施策面における課題について理解が深まる。
2. 来年度の協力方針や展開方法に関する道筋が付き、2回目の専門家派遣に繋がる。

活動4の紹介:職員・専門家派遣(2回目)

日程:2015年3月上旬

主な活動内容(予定):

1. 江蘇省環境保護庁、環境監測センターとの協議
 - ・ 2回の研修を通して把握した課題の共有、討論
 - ・ 共同研究のテーマやモデル事業実施の可能性についての協議
2. 省内市政府の環境保護部局及び事業場への訪問(モデル事業の実施に向けた情報収集)

期待する成果:

1. 共同研究のテーマやモデル事業の実施について共通認識が得られる。
2. 来年度事業の実施内容の大枠について合意が形成される。

来年度以降の予定

- 引き続き訪日研修を(年2回程度)実施

初年度の交流の成果を踏まえ、引き続き訪日研修を実施する

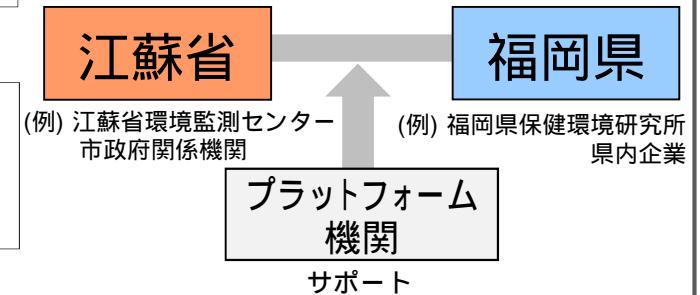
- 共同研究を実施予定

想定される共同研究のテーマ(仮):

1. 大気測定結果の解析手法に関する共同研究
2. 排出インベントリ作成のための支援

- モデル事業の実施に向けた基礎調査を実施予定

主な活動内容(予定): モデル事業の実施に向けた基礎調査及び日中双方の体制構築
期待する成果: モデル事業の実施内容が固まり、3年目以降の本格的な事業実施に繋がる。



その他

今後の協力展開に関する手掛かり(技術職員研修で得られた研修員の感想より)

- ・江蘇省では排出インベントリ作成が急務の課題。排出係数の設定や計算方法等については、欧米の例を参考にしているが、中国の実情に合っていない。今後、排出インベントリを取り挙げて技術交流できれば有意義。
- ・モデル事業については、特定の業種を選んで、大気有害物質の排出量の削減策の検討・実証をすることが考えられる。
- ・工場での大気有害物質の排出を抑制する際、生産を制限することを発想しがちだったが、省エネを実践することで、経済成長を止めることなく同様の効果が得られる点に理解が深まった。このような視点は中国では浸透しているとは言えず、今後の交流テーマの一つに繋がるのではないかと。